

令和6年度 第2回野洲市学童保育所運営協議会 会議録

- I 日 時 令和6年12月19日(木) 19:00~19:50
- II 場 所 中主防災コミュニティセンター 研修室A・B
- III 出席者 〈運営協議会委員〉
平松 睦、稲田 吉行
(以上保護者会会長)
元岡 万季(三上小学教頭)、奥山 寿美子(市民生委員児童委員協議会)
吉田 芳行(市自治連合会)、井狩 昭彦(市健康福祉部 政策監)
水谷 威彦(社会福祉協議会事務局長)
西村 幸雄、立田 裕子、梶谷 明美、杉本 邦子、山本 絵美、太田 千鶴
(以上学童保育所所長)
〈事務局〉
高岡 季博(事務局次長)
益田 研(学童保育課課長) 根本 潤子(学童保育担当)
〈市健康福祉部〉
浅田 智弘(課長)、村上 真規(こども課専門員)、
- IV 欠席者 田中 千尋(北野第1学童保育所 保護者会 会長)、
寺村 隆(祇王第3学童保育所 保護者会 副会長)、
岡田 真由美(篠原第1学童保育所 保護者会 副会長)、
徳田 照美(三上第1学童保育所 保護者会 会長)

【内容】

- 1 開会
- 2 運営協議会会長あいさつ(吉田会長)
- 3 報告事項
(1) 令和7年度 野洲市こどもの家(学童保育所)入所申請状況について

資料「令和7年度野洲市こどもの家(学童保育所)入所申請状況

令和7年度 入所申請については、

- ・窓口申請として、11月7日から9日までの3日間(土曜日含む)
- ・オンライン申請期間として、11月7日から12月6日の30日間(基本24時間申請可)

にて、申請の受付を行いました。

受付日と申請数の結果については、一覧に表しているように

- ・窓口申請(11/7~11/9)3日間で498件
- ・オンライン申請(11/7 9:00~12/6 17:00)にて762件

の総数1,260件の申請があり、窓口40%、オンライン60%の割合での申請を受付しました。

資料「令和7年度野洲市こどもの家（学童保育所）入所申請状況

受付完了分の内訳を一覧にしております。

一覧表の内訳については、縦に学年別 横に学区別で、それぞれ男女と保育種類別に人数で表しています。

12月16日現在

合計 1,264件

受付完了後に辞退やその他申請等があり、4件の差異があります。

対前年比（5/1）、114名の増加となります。

増加の要因として、

縦の欄 学年別で見ると

新1年生の申請が、284名

前年比（5/1）で49名の増加、新1年生の申請者数としては、過去最高人数であり

また、高学年（5.6年）の利用率が高くなっています。

横の欄 学区別では

市内6学区すべてにおいて前年より増加しております。

特に野洲、北野学区では、前年比30名以上の増加している状況です。

一覧表の下段に学区ごとに設置している学童保育所施設の箇所数と定員、及び申請者との差を「定員比」として表しております。

施設定員に対して、篠原学童を除き、定員を超える申請があり、現在開所している25学童保育所定員 計1,175名に対して、今年度の申請数1,264名、利用率として108%と多くの利用の申請をいただいております。

以上、12月16日現在の状況となりますが、新年度(4/1)を迎えるまでに人数は多少増減があることをお伝えします。

申請の受付を終えて、今後のスケジュールとして、

・2月初旬を目途に、野洲市から保護者へ結果通知の発送を予定しております。

・2月16日（日）に新入児童の保護者対象に「準備説明会」を開催致します。

その後、必要に応じて、見学・面談等を実施して新年度を迎える予定をしております。

資料「野洲市こどもの家「土曜保育」申請状況（令和6年12月16日現在）」

「土曜保育」の状況を一覧にしております。

1,264名の入所申請児童の内「土曜日」の利用申請された児童数は、74名

申請全体の約6%の割合になります。

6学区全てから利用申請があり、また全学年からの利用申請があります。

「土曜保育」については、通常保育とは別に、市内全学区を対象に「北野学童保育所」の施設で合同保育を実施しています。

以上、令和7年度入所申請状況の報告といたします。

会長 ただ今の報告について、ご質問等ございましたらお願いします。

委員 ほぼ全定員がオーバーしていますが、全員が入所出来るのでしょうか？

事務局 これから入所申請の内容について書類のチェックがありますし、今後人数の増減が

あろうかと思えます。現在多くの方にお申込みいただいておりますが、受け入れの体制を整えて基本的に期間内に申請された方につきましては、全て入所していただけるよう対応する予定です。

(2) 令和6年度 夏季保育における昼食提供の結果について

保護者の要望を受け、負担軽減を図る目的に、令和4年度より、夏休み期間において「昼食提供」を実施しております。

令和6年度の取り組みと結果について、順にご説明いたします。

まず、令和6年度は、夏休み期間中 合計14回「昼食提供」を実施しました。

お盆期間を除き、週3回 (月)(水)(金)

メニューは、(月)(金)は お弁当、(水)が パン の提供をいたしました。

申込みについては、ラインアプリを保護者の方で登録していただき、注文から代金支払いまでを全て行えるようにしました。

昼食提供の結果につきましては、資料を確認ください。

資料「夏季保育における昼食提供の結果」

まず、(月)(金)に提供した「お弁当」は、合計10日間

資料には提供日ごとにメニューを上に表示しており下に提供日ごと、また種類(3種類)ごとに注文数で表しています。

結果は、弁当利用者の7割が「弁当小」をご注文されました。

注文数は、1日平均 96.6食でした。

出席児童に対する実利用率は、16.2%でありました。

次に、(水)に提供した「パン」は、合計4日

メニューを上に表示し、下に提供日ごと、また種類(2種類)ごとに、注文数で表しております

結果は、2個セット、3個セットの割合は、後半ほぼ同数でのお申し込みがありました。

注文数は1日平均71.3食、出席児童に対する実利用率は、8.5%でした。

次に、「昼食提供」実施後に、保護者向けのアンケートを実施いたしました。

8/1現在、在籍している児童の保護者(903世帯)に対してアンケートを実施したところ、334件からご回答がありました。(回答率37%)

主な項目について資料にまとめておりますので、順にご説明いたします。

資料「保護者アンケート結果」

「昨年と今年の夏休みに実施した昼食提供の利用の有無」の設問で、利用の状況を確認させていただいております。

結果は、「今年のみ利用した/昨年も今年も利用した」とご回答いただいた保護者は全体の38.5%で、一方で「昨年も今年も使用していない」とご回答した保護者は35.9%であり、「昨年のみ利用した」と回答した保護者は25.4%でありました。

次に「今年利用しなかった理由」について確認しております。

「今年利用しなかった」理由については、54.1%が「子どもの好きなメニューではなかったから」となっております。次いで「価格が高くなったから」「注文方法が分かりにくか

ったから」がそれぞれ約40%を占めております。

次に、「昨年も今年も利用しなかった」理由について確認しております。
「昨年も今年も利用しなかった」理由としては、54.1%が先ほどと同様に「子どもが好きなメニューではなかったから」というご回答をいただいております。
次いで「価格が高いから」というご回答を41.6%いただいております。

次に「利用の満足度」について確認をさせていただいております。
こちらにつきましては、「たいへん満足」「おおむね満足」が、「今年のみ利用」された方で68.8%、「昨年も利用」した方で58.8%と、共に過半数のご回答をいただいております。
逆に不満の理由として、先ほどと同様「子どもが好きなメニューではなかったから」が「今年のみ利用」で52.6%、「昨年も利用」で75.0%と、共に高い割合を占めました。

次に「昨年と比較しての満足度」としてご回答いただいております。
昨年と比較して、「昨年よりも良かった」とご回答いただいた方は、54.4%、
半面「昨年の方が良かった」とご回答いただいた方は21.1%おられました。

最後に、「注文・決済システムについての、満足度」についてのご回答ですが、
「たいへん満足」「おおむね満足」とご回答いただいた方は、83.7%と多くの方に満足と回答していただき、改善が図れました。
半面、不満の理由として、「注文・キャンセル期限が短いから」とご回答いただいた方が81.0%おられました。

その他、今年から導入した「パン」の満足度についての回答は、「たいへん満足」「おおむね満足」が50.3%との回答結果もありました。

資料とともに、主な内容についてご説明させていただきましたが、アンケート調査の詳細については、野洲市ホームページに掲載していただいておりますので、ご確認頂けたらと思います。

最後になりますが、令和6年度の昼食提供の結果、アンケート回答をもとに、次年度（令和7年度）に向けての取り組みについて 今後検討を進めて参ります。

以上、報告といたします。

会長 　ただ今の報告について、ご質問等ございましたらお願いします。

（質問なし）

（3）市内学童保育所の活動紹介について

前回（7月会議）に続き、今回は三上第1.2学童保育所 と 中主第1～4学童保育所の活動について所長より、報告させていただきます。
活動内容を知っていただけるよう 写真データとともに紹介させていただきます。

委員 　こんばんは、三上学童保育所 山本と申します。よろしくお願いいいたします。今回は、子どもたちの普段の様子と夏季保育の様子、地域との交流についてお話をさせていただきますと思います。
まず初めに、子どもたちの普段の様子をお話します。

三上第1・第2学童保育所は、三上小学校の南館1階をお借りしています。保育室には台所と手洗い場、畳スペースが設置されています。普段は第1学童保育所と第2学童保育所と2所にわかれています。自由遊びの時間になると、どちらの部屋で遊んでも良いとなります。子どもたちが自分で遊びたい場所を選択できます。運動場で年中流行っている遊びといえば、ドッジボールと一輪車です。全体数が少ないこともあり大人でドッジボールをすることは中々できませんが、それでも子どもたちは、楽しく遊んでいます。また、ボールの投げ方もメキメキと上達し、低学年は上の学年の児童のボールをしっかりとキャッチできるようになってきています。他にもブランコが人気です。暑い時期は、ブランコも熱く、日が照っている場所にあり、遊ぶ機会がありませんでした。10月頃から夕方ようやく涼しくなり、ブランコへ行けるようになりました。ブランコに乗って友だちとくつ飛ばしをしたり、どちらが高くこげるかの勝負をしています。

室内では、子どもたち、それぞれやりたい遊びをして過ごしています。例えば空き箱を使っての工作。いくつもの空き箱、トイレットペーパーの芯、ペットボトルキャップなどを使い、ロボットや車、ドールハウス、人形等たくさんの物が毎日生まれています。作り方の紙は無く、全て子どもたちが自分で考えて作っています。その想像力には、いつも驚かされます。

他にも季節に合った行事も行っています。10月末には、ハロウィンにちなんだコーナー遊びを行いました。5つの遊びのコーナーがあり、子どもたちは友だちと一緒にコーナーを回ります。遊びにチャレンジしたら、その日のおやつをゲットすることができ、後でみんなで美味しく食べました。遊びコーナーでは、記録を狙うようなものもあり「やったー！おれめっちゃ倒したで」「私は、6個積めたよ」などと自慢げに話してくれました。また、行事の当日までにハロウィンのお面を作成し、当日につけて回ろうと伝えていましたが、みんな恥ずかしいようで、お面をつける子は少なかったですが、友だちとお面の柄を見せ合ったりと違う楽しみ方をしている子どもたちも見られました。

次に夏季保育についてお話させていただきます。

三上第1・第2学童保育所は、今現在59名の児童が在籍しています。夏季保育の時点では、64名の児童が通っていました。

コロナ禍も今では当たり前になり、今年は、久しぶりに野外活動へ出かけることにしました。行先は、守山市にあります、琵琶湖マリオットホテルの横デジタルスタードーム「ほたる」です。こちらでプラネタリウム鑑賞を楽しみました。今在籍しているほとんどの児童が、学童保育所から行くお出かけは初めてで、子どもたちもとてもワクワクしている様子が見られていました。当日は、「会場が真っ暗になる時があるよ」と子どもたちに伝えていたので、その時になると不安になる児童もいましたが、きれいな星空が見えた瞬間に「わあ～！すごい。きれい」という驚きの声も聞こえてきており、ホッとしました。半日のお出かけではありましたが、子どもたちの一つの思い出になったのではないかなと思っています。

行事は他にも、毎年行っている「けん玉教室」「けん玉検定」、日本けん玉協会の方に来ていただき、けん玉の基本の持ち方、けん玉の面白さを教わりました。夏休みの最後には検定をやるよと伝えると、今まで興味のなかった子も「もしかめ、やってみたい」と意欲的に取り組む子どもの姿も増えていきました。検定当日は、緊張感もある中で、先生から技を見せる合図の「はじめ！」と声がかかる瞬間の子どもたちの集中力には、こちらも手汗を握る思いでした。

夏休みの後半からは子どもたちと職員で一緒に作る「いるかまつり」を実施しました。当日は、8月23日（金）なのですが、8月19日（月）からの4日間を使い、遊びのコーナーの道具や看板をグループに分かれて、準備を進めていきます。それぞれのグループには、店長・副店長がおり、みんなを見守ってくれています。作業は、友だちと一緒にできるのが楽しいようで、とても生き生きとしています。当日は、前半後半で店番とお客さんどちらも楽しめるようにし、みんなで作った遊びコーナーを回っていきます。遊びのコーナーは

「魚つり」「的あて」「ワニワニパニック」「輪投げ」「パズル」「射的」の6つのコーナーがありました。得点がつく遊びが多く、子どもたちがお店を開く中で考えたのが、「今現在の最高得点」というボードを作り、「今は誰が一番ですよ！」と伝えていました。するとそのボードを見ると、子どもたちは「その記録抜いてやる〜！」と意気込む姿もあり、とても盛り上がっていました。

毎年、実施している「いるかまつり」ですが、学年が一つ上がれば、やる内容も理解し、また新しい子が入ってくると、自然とやり方を教える姿が子どもたちに見られます。この行事も子どもたちの中で小さなことかもしれませんが、良い経験になればと願っています。

最後になりましたが、少しだけですが地域の方との交流についてもお話したいと思います。

昨年度から再開しました、南桜にあります「ケアホーム えまい」さんとの交流についてです。えまいさんとの交流は、学童保育所でご家庭から預かったペットボトルキャップを集め、そのペットボトルキャップを利用者さんへお渡しするというものです。

コロナ禍中は、交流することができませんでしたが、昨年度、えまいさんから「また、子どもたちからペットボトルキャップを受け取りたい」とお話をいただき、今年度も引き続き交流をさせていただきました。今年は夏休みに訪問していただくことになり、学童保育所からはペットボトルキャップを渡したい児童を事前に募り、4名が渡すことになりました。

当日は、職員の方1名と利用者さん1名が訪問されました。代表の子どもたちから「使ってください」と伝え、利用者さんにペットボトルキャップを受け取ってもらいました。その後に職員の方から、体の不自由な人について少しお話をされ、子どもたちは静かに耳を傾けていました。実は、ペットボトルキャップを渡す児童の内1名が、訪問された時に泣いていました。理由を後から聞いてみたところ、「利用者さんにびっくりした」とのことでした。表現として合っているか分かりませんが、本児が想像していた方との違いがあり、びっくりして泣いてしまったとのことでした。そのことを後から聞き、自分たちの身近にも色々な人が生活していることを知ってもらえた良い機会になったのではないかと感じました。短い時間では、ありましたが、地域の方との交流をこれからも大切にしていきたいと思えます。

以上です。ありがとうございました。

委員 皆様、こんばんは。 中主学童保育所所長の杉本でございます。

中主小学校は、長年の改修工事が9月によりやく終わり、仮設校舎が撤去され、広々とした運動場が戻ってきました。バックネットが新しく設置され、野球もブームになりそうなのは楽しみなのですが、一方で、ドッジボールやサッカー、鬼ごっこ、一輪車の位置取りが難しくなりました。つつい今までの場所を使ってしまう、ぶつかりそうになり、ヒヤリとしたこともあります。危険はないかとのアンテナを張りつつも、工夫して子ども達の「楽しい！」を応援していきたいと思っています。

今年度11月までの、中主学童保育所の地域交流、夏休みの様子、街頭募金活動についてご紹介します。

6月初め、今年度も日赤奉仕団西河原支部の皆様にお世話になり、1年生がヒマワリの苗植えを行いました。説明も真剣な表情で聞き、奉仕団の皆様が丹精込めて種から育てて下さった苗をポットからそおっとプランターに一人一人丁寧に植えかえることができました。

今年で3回目の取り組みになり、ボランティアの皆様も学童の様子に慣れてくださり、土の種類等、いろいろなアイデアを提案してくださいました。1年目は不安そうだった指導員達も見通しが持ってきて、プランターの土の準備などスムーズに進めることが出来ました。おかげで猛暑の中、今年は、今までで一番きれいな、大輪の花を咲かせることができました。あきらめず、続けてきてよかったです。

9月の1年生交流では、枯れたひまわりから種を取りました。「夏の時、自分よりひま

わりの方が背、高かった～！」「種、めっちゃある！！種採るの楽しい～」などひまわりの思い出の話をしながら、一粒一粒丁寧に採っていきました。観察日記に、夏のひまわりを思い出して色鮮やかに描く子もいました。みんなで2,200個以上の種を採ることができました。

11月の1年生交流では、ボランティアの皆様にお礼として「ひまわりの種」の贈呈式を行い、感謝のメダルを贈りました。ボランティアさんから、東日本大震災の後、ひまわりが復興のシンボルとなっていること、みんなが採ってくれた種は、福島へ送り「ひまわりプロジェクト」として役立てられることを聞き、「種の油でバスが動くんだ～」と驚く子ども達でした。

贈呈式の後、春に向けてのお花の苗を植えてもらいました。ビオラ、キンセンカ、ストック、桃色タンポポ等、やはり種から育てた、7種類144の苗を持ってきてくださいました。「このギザギザの葉の苗植えたい！どんな花が咲くのかな？」「もっと植えていい？」とワイワイ言いながら植えました。

今年の5月、母の日の前に、昨年度植えた花がまだきれいに咲いていたので、ミニアレンジメントを作りメッセージカードを添えておうちの人にプレゼントしました。普段大人にしてもらうことが多い子ども達。自分たちが育てた花で、プレゼントできるのが嬉しくて、真剣にオアシスに挿していきました。「ママ、パパいつもありがとう」のメッセージを読み、涙ぐむ方もおられました。今回植えた花で、来年も取り組めたらなと思っています。

暑さで外に出られないことを覚悟して臨んだ夏休みでしたが、1日保育の間は全く出られませんでした。又、中主小の改修工事が続き、たとえ外に出られても4:00～5:00の1時間のみとなっていました。チャレランや夏祭りなどの活動、じっくり取り組む制作活動など室内でも充実した内容になるよう準備してきたつもりでしたが、興味関心も様々なたくさん子ども達、一人一人の思いに寄り添えたかとなると難しいです。

課題も多かったですが、楽しいことにワクワクしている笑顔、苦手なことでもやってみようとの真剣な表情にもたくさん出会えました。夏休みの1大イベントの野外活動は、長浜市にある「ヤンマーミュージアム」に行きました。

昨年、祇王学童さんが行った場所で、計画書を見せていただいたりして、とても心強かったです。ただ、中主第3・第4学童は指導員を含め60名を超えているので60名定員のバスに乗り切れません。中主第3・第4学童の5・6年生だけ、別日で行くことにしました。

幸い5・6年生は野洲市のバスをお借りできたのでバス代はかからず、又、一人400円の入場料は、保護者会様より助成金を出していただき、大変ありがたく感謝しています。

当日、子ども達はワクワクした様子で登所し、事前学習で伝えたことを守りながら、アスレチック、ボルダリング、パワーシャベル操縦など、様々な体験コーナーを「次はアレやってみよう！」「これ楽しいし、もう1回チャレンジしよう！」と時間いっぱい使って積極的に廻り、カードにポイントをたくさん貯めて喜んでいました。遠方でもあり、行きの工事渋滞や帰りのバスの中で「先生、トイレ！」の声などハプニングもありましたが、大きなけがもなく無事に学童保育所まで帰ってこれてほっとしました。後日、保護者の方から、「子どもが、めっちゃ楽しかったって、とっても喜んでました。ありがとうございます。」と言われ、学童では、そのお子さんは、それ程喜んでる様子は見られなかっただけに、嬉しく思いました。

毎年行っている外部講師によるけん玉教室は、野外活動で空いている生活室を利用するなど、昨年同様、生活室で行いました。1・2年生は、「たこ焼き一丁！」などけ玉に親しむところから、3年生以上は子ども達の習得レベルに合わせて指導していただきました。

指導経験豊富な福井先生やお弟子さん達に刺激を受け、毎年、けん玉教室の後には、けん玉がブームになります。

出前授業では、大阪ガスさんに防災教室をしていただきました。第1・第2学童実施の前日夕方に、宮崎県で震度6弱の地震があり、南海トラフ巨大地震への注意情報が出され、ニュース等で身近に触れていたこともあって、防災への意識が持ちやすく、いつになく真剣に話を聞く姿があり、子ども達にも、よりリアルタイムで実感が持てたように思います。

映像資料で災害の怖さを知ったり、電気が使えない不便さに気づき、あるもので工夫することを学びました。新聞紙でのスリッパ作りは、可愛い絵を描き加えたり、折り紙でミニミニスリッパを作ったりと楽しんでいました。

カロム大会も夏休み恒例の4所の行事です。各所の予選を勝ち抜いた2組のペアが本選へ出場します。連日カロムは大人気。各所2台のカロム台では足りず、4台、ふれあいサロンにお借りしました。コミセンなかさどで行われた本戦では、日頃鍛えた腕で熱戦が繰り広げられ、第3学童の4年生ペアが、見事優勝トロフィーを獲得しました。ちなみに秋のカロム大会では、第4学童に優勝トロフィーが移り、第3学童の児童たちは、「トロフィーを取り戻すぞ〜」と練習に熱が入っています。低学年の児童がめきめきと腕を上げたり、「自信がないけど申し込んでみようかな」とチャレンジしたり、いろいろな姿が見られます。

毎年、夏休み最終日に行われる夏祭りは、久しぶりに全所合同で行うことができ、他所の子ども達との交流の場を多く持つことが出来ました。ヨーヨー釣り、輪投げ、ダーツ、射的など、全所で9つのコーナーをスタンプカードを持って自由に廻りました。どのコーナーも子ども達のチャレンジ精神をくすぐるものだったこともあり、時間いっぱい、何度も挑戦する姿が見られました。子ども達は高学年を中心に、協力して看板作りや、スタンプカード作り等準備してきましたが、お店のスタッフとしても大活躍。お揃いのネームホルダーをつけ、「いらっしやいませ〜」と大きな声を出してゲームの説明、準備、片付けなど積極的に活動してくれました。「大変や…」と言いながらも担当のゲームコーナーが行列になると、どこか嬉しそうな表情を浮かべていました。中主小の校長先生もサプライズで登場し、歓声を受けておられました。来年は、計画的に招待状を出して、多くの先生方に子ども達の様子を見ていただけたらと思います。

10月、赤い羽根共同募金の街頭啓発活動に、今年は1年生10名がフレンドマート中主とビッグの2か所に分かれ、参加しました。当日が火曜日で午後3時の下校は1年生のみという状況だったので、手を挙げてくれるかな、ちょっと遠いけど大丈夫かなと心配でしたが、たくさんの子が希望してくれ、第1と第2学童の選抜チームとなりました。事前学習として趣旨や活動内容の話をして「大きな声で元気よく呼びかけできるかな？」と問いかけると「頑張る！」と答えていた子ども達でしたが、そこはやはり1年生…他のお友達がその時間に遊んでいることが羨ましくもあり、「やっぱりやめようかな…」と言い出す子もいましたが、「みんななら大きな声で元気よく最後まで頑張れること、先生たち知ってるよ。やりたいて言ってくれた気持ち、嬉しかったし、緊張もするけどやってみようよ！」と励ましながら当日を迎えました。

当日も始めのうちは緊張した表情をしていましたが、「頑張っってね」と募金に協力してくださる市民の方に励まされて、徐々に「赤い羽根共同募金にご協力お願いします!」「ありがとうございます!」と声を出せるようになりました。タイミングを計り、自分から進んでティッシュを配りに行く、目を見張る動きの男の子がいて、「こんな一面があるんだ〜」と感動しました。応援に来て下さったおうちの方にも「頑張ってるやん」と褒められ、照れくさそうにしている姿がかわいらしかったです。皆、1時間弱ほどの時間を最後まで頑張ってくれました。

以上で中主学童保育所の活動紹介を終わります。ありがとうございました。

会長 2つの素晴らしい活動について報告をありがとうございました。

丁寧の説明をしていただきましたので、学童保育所同士が連携を取って、子ども達が上手に仲間づくりが出来るようになるのが良いと思います。

ご協力をお願いしたいと思います。では、事務局からお願いします。

事務局 特にありません。

会長 特にないということですので、本日の報告につきましては終了させていただきます。

ありがとうございました。

事務局 吉田会長様 ありがとうございました。以上を持ちまして、令和6年度第2回野洲市学童運営協議会を終了させていただきます。

皆様 長時間にわたりましてお疲れさまでした。今後ともご協力をお願い致します。なお、第3回会議につきましては、会長様、副会長様と相談させていただき、ご連絡させていただきます。

予定では例年来年の3月中旬を予定しております。よろしくお願いいたします。